

水稻新品種「一穂積 (秋田酒120号)」

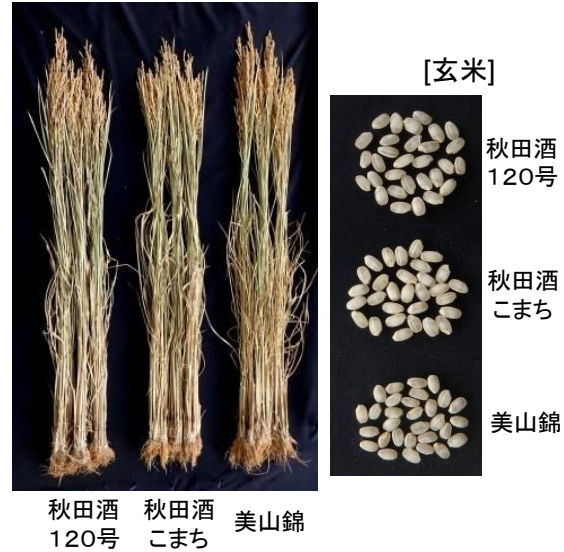
秋田県農業試験場

1 この品種を開発した目的

醸造用玄米検査数量が全国的に最も多い「山田錦」や2番目に多い「五百万石」は気象条件等の理由で県内では生産されていません。そこで、これらの品種がもつ淡麗、軽快、後味にふくらみのある特徴の清酒製造に適する酒造好適米品種を開発しました。

2 品種の特性・用途・セールスポイント

- ① やや早生、穂重型の酒造好適米
- ② 穂数は「美山錦」よりもやや多いが、収量は同程度
- ③ 千粒重は「秋田酒こまち」並
- ④ 稈長は「美山錦」より短く、倒伏程度は「美山錦」並
- ⑤ 玄米品質が良く、酒造適性に優れる



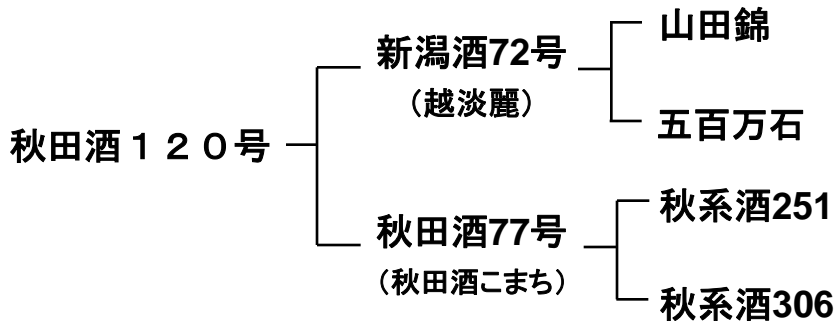
「秋田酒120号」の生育および収量

年次	品種・系統名	出穂期 月/日	成熟期 月/日	成熟期調査			倒伏 0~5	葉いもち 0~5	穂いもち 0~5	玄米重 kg/a	千粒重 g	玄米品質 1~9
				稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²						
2011	秋田酒120号	7/30	9/15	77.4	20.1	313	0.7	0.0	0.0	54.7	27.4	2.3
	秋田酒こまち	7/31	9/19	78.2	20.5	299	0.3	0.0	0.0	55.0	27.8	2.5
2014	美山錦	7/31	9/19	87.1	19.6	312	0.8	0.0	0.0	58.6	25.4	2.5

※玄米重は篩目2.0mm

※玄米品質は日本穀物検定協会東北支部による。1~9および規格外の9段階。

3 育成経過



4 製成酒の特徴

製成酒は県内で生産される
既存品種とは異なる酒質

雑味が少なく軽快
フレッシュ、
ふくらみ、やわらか、
米うま味、
にがみ(若々しさ)

★この品種に関する問い合わせ先★

秋田県農業試験場 電話 018-881-3312